近江の石工

令和５年２月発行
発　行
滋賀県石材組合連合会
広報委員会

会長挨拶

滋賀県石材組合連合会会長　岡島 義孝

明けましておめでとうございます。旧年中は会員の皆様には当連合会の活動に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続く一方で、感染防止に配慮しながらコロナ禍以前に近い形で開催されたイベントもあり、少しずつ盛り上がりが見られた年であったと思います。そんな中でしたが、当連合会では感染拡大の波を鑑み、対面での事業実施は難しいとして、例年実施している事業の多くが中止となってしまいました。

技能検定は受験者がなく実施しませんでした。次世代の育成、技能向上のため少ない受験者でも実施したいと考えます。ものづくりフェアは２年間対面での開催が見送られ昨年規模を縮小して開催されましたが、感染状況を鑑み残念ながら不参加となりました。また、一昨年中止になり延期されている研修旅行を実施する予定でしたが感染拡大状況を鑑み、感染予防の観点から実施は困難であると判断し、中止となりました。そんな中で無縁塚の清掃・法要事業は唯一実施することができました。無縁佛石の受け入れは予定通り３回実施できました。

会長に選任いただき１期２年が過ぎましたが、コロナ禍での難しい運営となりました。社会では行動制限が無くなり、対面での会議や会食などの機会も増えてきていますが、当連合会の事業では大人数が集まることになるため、また感染の波を見ながらで悩ましい判断の連続でありました。

今年に入ってもコロナの波は収まることはありませんが、第４８回通常総会は対面で開催し、３年ぶりに懇親会を計画いたしました。まだまだ終息は見えることがなく、しばらくは状況が変わることはないでしょう。そのような中ではありますが、延期している研修旅行など通常通りの事業を計画させていただいています。これまでの形式にとらわれることなく、情勢を注意深く見ながら、それぞれの事業の開催時期、内容等を考え、進めてまいりたいと考えます。皆様のご協力をお願いいたします。

ウクライナ情勢に端を発した原油、物価の高騰、歴史的な円安が石材業界にも大きな影響を及ぼしています。新型コロナ感染症の影響に加えて急激な物価の高騰で、難しい経営判断を迫られる状況が続いていると感じています。会員一人ひとりが困難な状況を乗り越えていけるよう、会員のためになる事業を実施したいと考えております。また、当連合会の強みのひとつに会員同士のつながりの強さがあります。つながりを途絶えさせることなく共に発展できるよう、協力して事業を進めて参りたいと思います。

末筆になりますが、皆様にとって本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

無縁塚清掃及び無縁仏石法要

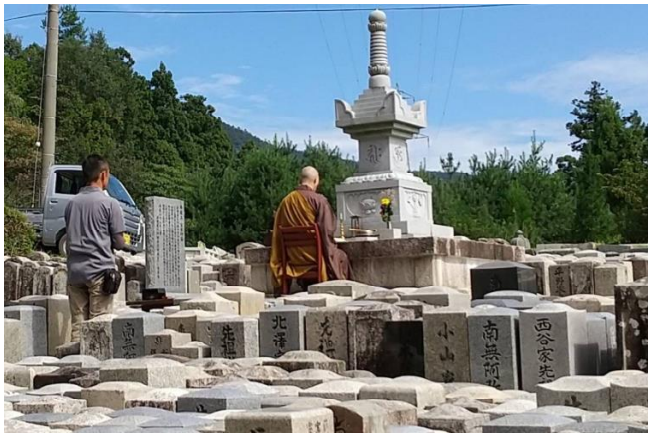
福利厚生委員長　藤野　博

新年明けましておめでとうございます。旧年中は連合会活動に協力頂き、有りがとう御座います。

さて、相変わらずのコロナ禍の中ですが、旧年９月２９日無縁塚清掃及び法要をさせていただきました。

一部手作業もありましたが、草刈機が使える所がほとんどで天候にも恵まれ、予定どおり作業を終えその後法要となり、此からの会員全員の健康と活躍を願い、本年度の数少ない事業を終わられていただきました。

これも作業前に大掛かりな準備をしていただいた平出石材工業の皆様のおかげと思います。本当に有りがとうございます。又当日お忙しい中参加いただいた会員の皆様本当にありがとうございました。



令和４年度　青年部活動報告

青年部部長　山中　厳

令和４年度を振り返り、青年部の活動報告をさせていただきます。先ずは２月１９日第４２回青年部総会ですが、コロナ感染拡大防止の観点から規模を縮小しての開催となりました。そして今年度は役員改正の年でしたので私、山中が一期目となる部長に就任し気持ちを新たに新体制でのスタートとなりました。しかし、まだまだコロナ禍であり思い通りに活動できないなか６月に第１回目となる青年部会議を開催しました。このような状況でどのような活動ができるか皆で話し合い、日帰りの研修旅行や、技能向上事業として資格取得を目指すなどの意見がでました。結婚報告もあり久しぶりの再会に話がはずむ場となりました。

例年３回行っています無縁塚整備事業ですが、二度目の受け入れに持ち込まれた無縁仏石の数が少なく、７月と年明け２月の二回の開催となりました。天候にも恵まれ沢山の部員に参加していただき、安全面に細心の注意を払いながら、持ち込まれたすべての無縁仏石を並べさせていただくと同時に周囲の草刈りをしました。我々青年部にとってこの活動は、ご先祖様に日頃の感謝の気持ちを込めて一基ずつ丁寧に並べさせていただくとても大切な活動です。これからも親会と連絡を取りながら、少しでも協力できるよう継続して行っていきたいと思います。

開催するかどうか悩みましたが１２月末に忘年会をしました。急な呼びかけにも関わらず参加していただいた部員と一年間を振り返り、労をねぎらい、新年に向けて気持ちをひとつにし、一年を締めくくりました。

現在青年部部員は１２名です。減少傾向ではありますが、部員拡大も積極的に進め、なんとかこの先５０周年を目指し偉大な諸先輩方が築いてこられた歴史と伝統に恥じぬよう、これからも滋賀県の石材業界のため、滋賀県石材組合連合会青年部としてより一層活発な活動をしていけるように頑張りますので、今後もご指導、ご鞭撻いただけるようにお願いします。

最後になりましたが、皆様に御礼を申し上げ、青年部の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。